

BEST AVAILABLE COPY

(19) 日本国特許庁 (J P)      (12) 特 許 公 報 (B 2)      (11) 特許番号  
特許第3057007号  
(P3057007)  
(45) 発行日 平成12年 6 月26日 (2000. 6. 26)      (24) 登録日 平成12年 4 月14日 (2000. 4. 14)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>      識別記号      P I  
E 0 6 B   9/52      E 0 6 B   9/52      N

請求項の数 2 (全 5 頁)

(21) 出願番号	特願平3-198338	(73) 特許権者	000107930 セイキ販売株式会社 東京都練馬区豊玉南3丁目21番16号
(22) 出願日	平成8年7月9日(1996.7.9)	(72) 発明者	守 谷 守 東京都練馬区豊玉南3丁目21番16号 セイキ販売株式会社内
(65) 公開番号	特開平10-25979	(72) 発明者	茅 野 充 彦 東京都練馬区豊玉南3丁目21番16号 セイキ販売株式会社内
(43) 公開日	平成10年1月27日(1998.1.27)	(74) 代理人	100072453 弁理士 林 宏 (外1名)
審査請求日	平成10年4月17日(1998.4.17)	審査官	新井 夕起子
		(58) 調査した分野(Int.Cl. <sup>7</sup> , DB名)	E06B 9/52 E06B 9/303 - 9/388 A47H 11/00 - 11/06

(54) 【発明の名称】 可撓線条端挟持具

1  
(57) 【特許請求の範囲】  
【請求項1】 可撓性を有する線条の端部を保持して、該線条の端部を固定するための可撓線条端挟持具であり、上記挟持具は、当該挟持具を固定すべき位置に固定せしめる台部と、該台部に一体的に形成された上記線条の挟持部とを備え、  
上記挟持部は、当該挟持具の長手方向に切設されて、上記線条の端部を挟持できる程度に狹窄されたスリットと、線条端の結び目を係止させるスリット端の係止肩とを備えている、ことを特徴とする可撓線条端挟持具。  
【請求項2】 線条端の結び目がスリットから脱出するのを抑止する抑止手段を設けた、ことを特徴とする請求項1に記載の可撓線条端挟持具。  
【発明の詳細な説明】  
【0001】

2  
【発明の属する技術分野】 本発明は、例えば、スクリーン装置における可動框の平行移動機構を構成する張紐や、ブラインドにおけるスラットの連結に用いる紐等の、可撓性を有する紐、糸、天竺糸、その他の線条の端部を挟持して固定するための可撓線条端挟持具に関するものである。  
【0002】  
【従来の技術】 一般に、可撓性を有する線条の端部を固定するに際しては、図7及び図8に示すように、電線端を端部に固定するための金具と同様の固定金具101を使用しており、この固定金具101を可撓線条103の端部に取り付けて、該固定金具101を固定すべき位置にねじ等で固定するようにしている。この固定金具101は、略円柱状の線条端固定部101aと環状部101bとからなり、該線条端固定部101aに予め可撓線条

特許3057007

(2)

3

103の端部を固定的に連結し、上記環状部101bを固定ねじ105で固定するものである。

【0003】しかしながら、このような固定金具101を用いると、線条103の端部に上述の如く固定的に連結するため、該線条103の長さを調節することができないばかりでなく、例えば、図に示すように、建物開口部に装設されるスクリーン装置において、可動框の平行移動機構を構成する張紐の端部の固定に使用した場合、上記スクリーン装置をネット交換等のために分解するに際し、その紐状部材を抜き取ることは極めて困難である。また、上記スクリーン装置に限らず、可換線条端を容易に長さ調節することができ、しかも容易に着脱自在な手段が必要とされる場合が多々存在する。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】本発明の技術的課題は、スクリーン装置における可動框の平行移動機構を構成する張紐の固定や、ブラインドにおけるスラットの連続に使用される紐等の可換性を有する線条の端部の固定に際し、それらの線条を容易に着脱して該線条の交換あるいは長さ調節等を行うことができ、しかも、その可換線条に引張力が作用してもその挟持状態を保持できる程度に強固に該線条を固定することができるような可換線条端挟持具を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するための本発明の可換線条端挟持具は、可換性を有する線条の端部を保持して、該線条の端部を固定するための可換線条端挟持具であり、該挟持具は、当該挟持具を固定すべき位置に固定せしめる台部と、該台部に一体的に形成された上記線条の挟持部とを備え、該挟持部は、当該挟持具の長手方向に切設されて、上記線条の端部を挟持できる程度に狭窄されたスリットと、線条端の結び目を係止させるスリット端の係止肩とを備えていることを特徴とするものである。

【0006】上記挟持具には、線条端の結び目がスリットから脱出するのを抑止する抑止手段を設けるのが適切である。

【0007】上記構成を有する可換線条端挟持具により可換性を有する線条の端部を挟持固定するには、上記挟持部におけるスリット内に該線条を挟み入れて、該線条の端部に形成した結び目を上記係止肩に係止させるだけの簡単な作業で容易に挟持させることができ、一方、当該挟持具から上記線条を取り外すには、該線条を上記スリットに沿って上記台部の正面方向に引き抜くことにより容易に取り外すことができる。また、上記線条の長さを調節する場合には、台部の固定位置を調節することもできるが、該線条を挟持具から取り外し、該線条端の所望の位置に結び目を設けて、それを上記係止肩に係止させることにより、容易に上記線条の長さ調節を行うことができる。このようにして、上記線条を容易に着脱する

4

ことができ、したがって該線条の交換及び長さ調節等を極めて容易に行うことができ、線条端の固定も簡単且つ確実である。

【0008】また、上記抑止手段を設けることにより、線条端の結び目がスリットから脱出するのを抑止することができる。

【0009】

【発明の実施の形態】以下、本発明に係る可換線条端挟持具を図面に基いて詳細に説明するに、図1及び図2は本発明の挟持具の第1実施例を示し、図3及び図4は該挟持具の構造と共にその使用態様の一例、即ち、上記挟持具を、折畳式の防虫網戸におけるスクリーンの平行移動機構を構成する張紐の固定に適用した場合の使用態様を示している。

【0010】このスクリーン51を構成する折畳可能な張設ネットは、多数のブリーツをジグザグ状に施すことによりアコーディオン式に伸縮自在に構成されており、このスクリーン51を開閉自在に保持する上記スクリーン枠55は、上枠57、下枠59、及び左右の側枠61、63を相互に連結することにより形成したもので、一方の側枠にスクリーン51の一端を連結すると共に、該スクリーン51の他端を、スクリーン枠55にガイドさせた開閉操作用の可動框65に連結しており、該可動框65は、上記上枠57及び下枠59に上下両端を左右に摺動自在にガイドさせている。

【0011】上記可動框65は、その姿勢を常に一定に保持して安定的に平行移動させる必要があり、そのため、スクリーン枠55には、複数の張紐53a、53bの張設により形成される可動框65の平行移動機構を設けている。これらの張紐53a、53bは、スクリーン51の開閉方向に挿通し、スクリーン51の弛みや風等による揺らぎを防止するための増強の機能をも有するものである。

【0012】上記張紐53a、53bは、図3からわかるように、それらの一端を可動框65の上下部に取り付け、スクリーン51に挿通して側枠61側に導出した他端部を、スクリーン51における該側枠61側端の固定板67に設けた転向子69で上方に転向させ、該側枠61の上端に着脱自在に設けたコーナピース71において他方の側枠63側に転向させ、その側枠63の上端のコーナピース71で再び転向させて、予めスクリーン51の上部に挿通している張紐53aは、側枠63内を下方に導いたうえでその下端に設けたコーナピース72を経て可動框65側に折り返し、一方、予めスクリーン51の下部に挿通している張紐53bは、そのまま可動框65側に折り返している。そして、それらの張紐53a、53bの端部を、該可動框65の上下端に嵌着されたエンドピース73を介して、該可動框65の長穴75に沿って移動自在に配設された複数の可換線条端挟持具1にそれぞれ着脱自在に挟持させている。

BEST AVAILABLE COPY

(3)

特許3057007

5

6

【0013】上記可換線条端挟持具1は、図1及び図2に示すように、当該挟持具1を上記可動紐65の適宜位置に固定せしめる台部3と、該台部3の正面側における長手方向の一端に一体的に形成された上記張紐53a、53bの挟持部5とを合成樹脂により一体的に成形してなり、当該挟持具1を、上記台部3における挟持部5とは反対側の一端に配設された固定手段7により、上記可動紐65の長穴75の適宜位置に固定するようにしている（図3）。この固定手段7は、上記台部3の穴9に挿入した固定ねじ11と、該台部3の背面側において該固定ねじ11に螺合した固定板15とからなり、該固定ねじ11の調節により該台部3の背面と固定板15との間で上記可動紐65における長穴75の両口縁を挟圧することにより、該長穴75の適宜位置に固定するようにしている。なお、図中17は、挟持具1を上記固定手段7により固定した際に、上記長穴75内に係合することにより、上記固定ねじ11を中心として当該挟持具1が上記長穴75の左右方向にずれるのを防止するためのガイドである。

【0014】上記挟持部5は、当該挟持具1の長手方向に切設され、上記張紐53a、53bの端部を挟持できる程度に狭窄されたスリット5Aと、張紐53a、53bの端部の結び目54に係止させる係止肩5Bとを備えており、上記スリット5Aの中央には、上記結び目54がスリット5Aから脱出するのを抑止するための抑止手段12が設けられている。この抑止手段12は、図2に示すように、スリット5A上において上記台部3の上面よりも若干深く形成されたねじ穴5Cに上記張紐53a、53bを止着するための止着ねじ13を螺挿することにより形成でき、これにより、上記張紐53a、53bの端部の結び目54がスリット5Aから脱出するのを抑止することができる。なお、この実施例においては、スリット5Aと止着ねじ13とにより上記張紐53a、53bを保持するようにしているが、通常は、スリット5Aの挟持力等で十分に張紐の端部を保持することができる。したがって、上記止着ねじ13は、張紐の端部をより確実に保持する必要がある場合に取り付けられるものであり、上記張紐の種類や固定場所等に応じて、取り付けたり、省略したりできるものである。

【0015】上記挟持具1に張紐53a、53bの端部を固定する際には、該張紐53a、53bを必要な長さに設定するべく、該張紐53a、53bの端部の所望の位置に結び目54を形成し、該張紐53a、53bを上記挟持部5におけるスリット5A内に挟み入れて、上記結び目54に係止肩5Bに係止させるだけの簡単な作業で極めて容易に挟持させることができる。そして、必要に応じて上記ねじ穴5Cに止着ねじ13を螺挿して張紐53a、53bを止着することにより、よりいっそう確実に上記張紐53a、53bの端部を保持させることができ、しかも上記結び目54がスリット5Aから脱出す

るのを抑止することができる。

【0016】一方、上記張紐53a、53bを交換や長さ調節等のために取り外す場合には、上記止着ねじ13を取り外した後に、上記張紐53a、53bを上記スリット5Aに沿って上記台部3の正面方向に引き抜くことにより容易に取り外すことができ、また、上記張紐53a、53bの長さ調節を行う場合には、上記台部3の固定位置の調節により行うこともできるが、該張紐53a、53bの端部の所望の位置に結び目54を形成して、該結び目54において上記係止肩5Bに係止させるだけの簡単な作業で容易に上記張紐53a、53bの長さを調節することができる。

【0017】このように、上記構成を有する可換線条端挟持具1によれば、固定した張紐53a、53bを容易に着脱することができるので、それらの張紐53a、53bの交換及び長さ調節等を極めて容易に行うことができる。しかも、挟持具1から取り外した張紐端には結び目だけしか存在しないので、部品交換等のために張紐端をネットや穴に挿通させる必要がある場合に極めて有利である。また、上記挟持具1を、合成樹脂により単一の成形品として構成することにより、容易に且つ安価に製造することができる。

【0018】図5及び図6は、本発明の第2実施例を示しており、この可換線条端挟持具21は、挟持部25の先端に、台部3側に略平行に延びる張紐の結び目54の脱出の抑止手段32を設けたものである。この挟持具21に張紐53a、53bの端部を挟持固定した場合には、該張紐の端部の結び目54が、上記台部3と、挟持部25の係止肩25Bと、抑止手段32とにより形成される凹部内に保持されるため、上記結び目54がスリット25Aから脱出するのを抑止することができる。なお、図中34は張紐53a、53bをスリット5Aに挟持する際の案内部であり、上記抑止手段32の先端におけるスリット25Aの両縁部を切り欠くことにより形成されるもので、上記張紐53a、53bをスリット25A内によりスムーズに案内することができるものである。

【0019】上記第2実施例のその他の構成及び作用は、実質的に前記第1実施例と同等であるから、同一部分または相当部分に同一符号を付してそれらの説明を省略する。

【0020】上記第1及び第2実施例においては、本発明の可換線条端挟持具を、建物開口部用スクリーン装置を構成する防虫網戸における、張設ネットの補強のための張紐53a、53bを挟持して固定するための挟持具1に適用した場合について例示したが、これに限定されるものではなく、例えば、ブラインドにおけるスラットの連結等に用いる紐を固定するための固定具や、釣り糸を固定するための固定具など、可換性を有する線条を固定する必要性のある適宜の用途に適用することができる。

BEST AVAILABLE COPY



(4)

特許3057007

7

8

る。

【0021】

【発明の効果】以上に詳述したように、本発明の可換線条端挟持具によれば、上記挟持部におけるスリット内に該線条を挟み入れて、該線条の端部における結び目を上記係止肩に係止させるだけの簡単な作業で容易に挟持させることができ、一方、線条を上記スリットに沿って上記台部の正面方向に引き抜くことにより容易に取り外すことができる。また、上記線条の長さを調節する場合には、上記台部の固定位置を調節することもできるが、該線条を挟持具から取り外し、該線条端の所望の位置の結び目において上記係止肩に係止させることにより容易に上記線条の長さ調節を行うことができる。このようにして、上記線条を容易に着脱することができ、したがって該線条の交換及び長さ調節等を極めて容易に行うことができる。

【0022】また、上記抑止手段を設けることにより、線条端の結び目がスリットから脱出するのを抑止することができる。

【図面の簡単な説明】

\*【図1】本発明の可換線条端挟持具の第1実施例を示す正面図である。

【図2】図1のA-A側断面図である。

【図3】図1の挟持具を建物開口部用スクリーン装置に適用した場合の使用態様の一例を示す説明図である。

【図4】図3の可動框内部において、張紐を挟持した状態を示す部分斜視図である。

【図5】本発明の第2実施例の可換線条端挟持具で張紐を挟持した状態を示す斜視図である。

【図6】同側断面図である。

【図7】従来における可換線条端を固定するための固定金具の使用態様の一例を示す正面図である。

【図8】同側面図である。

【符号の説明】

1 可換線条端挟持具

3 台部

5、25 挟持部

5A スリット

5B、25B 係止肩

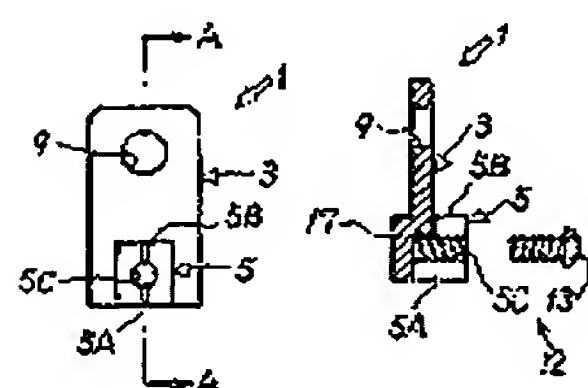
\*20 12、32 抑止手段

【図1】

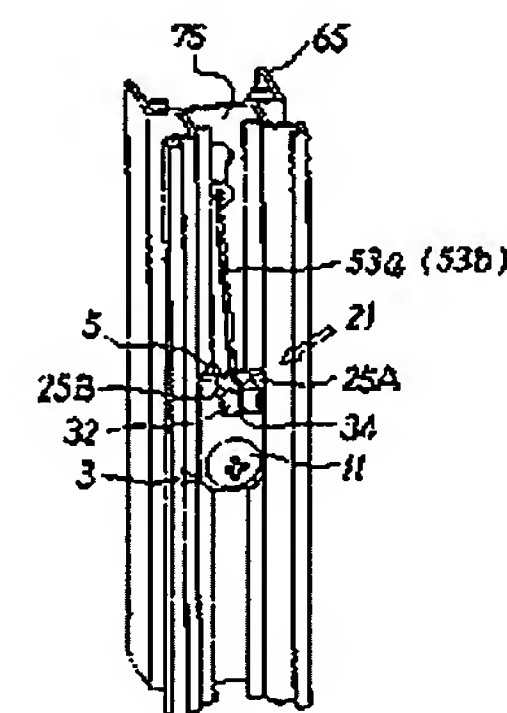
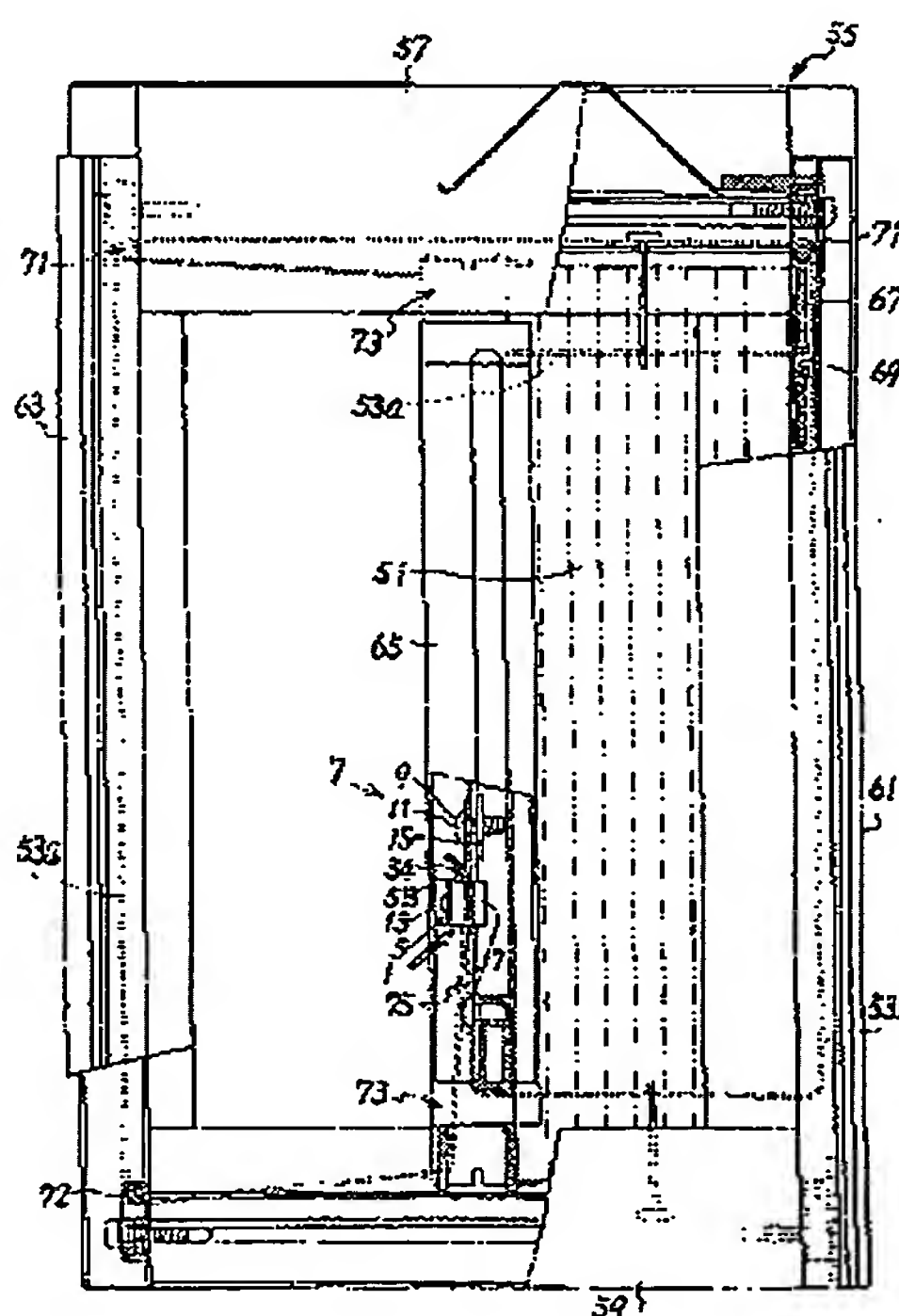
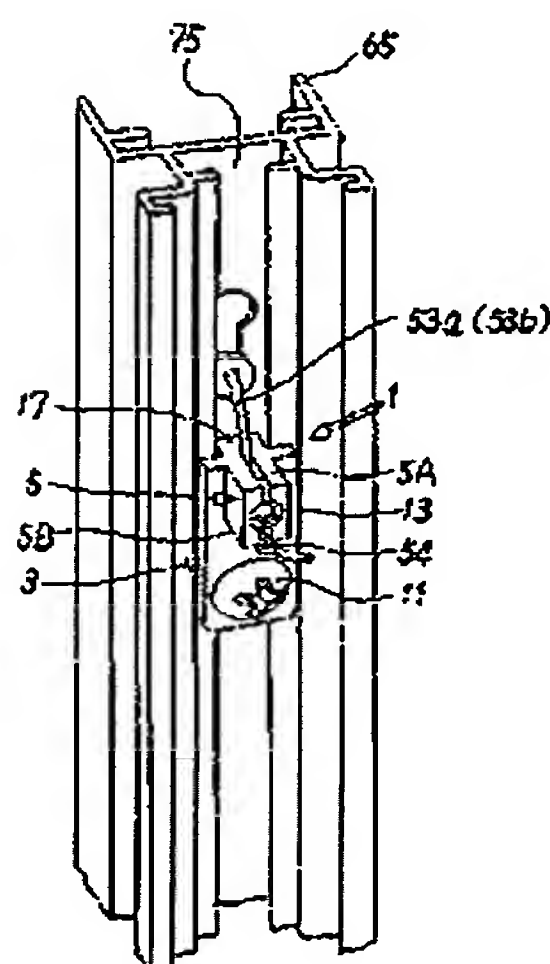
【図2】

【図3】

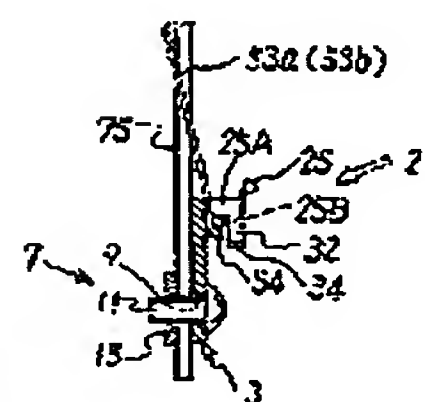
【図5】



【図4】



【図6】

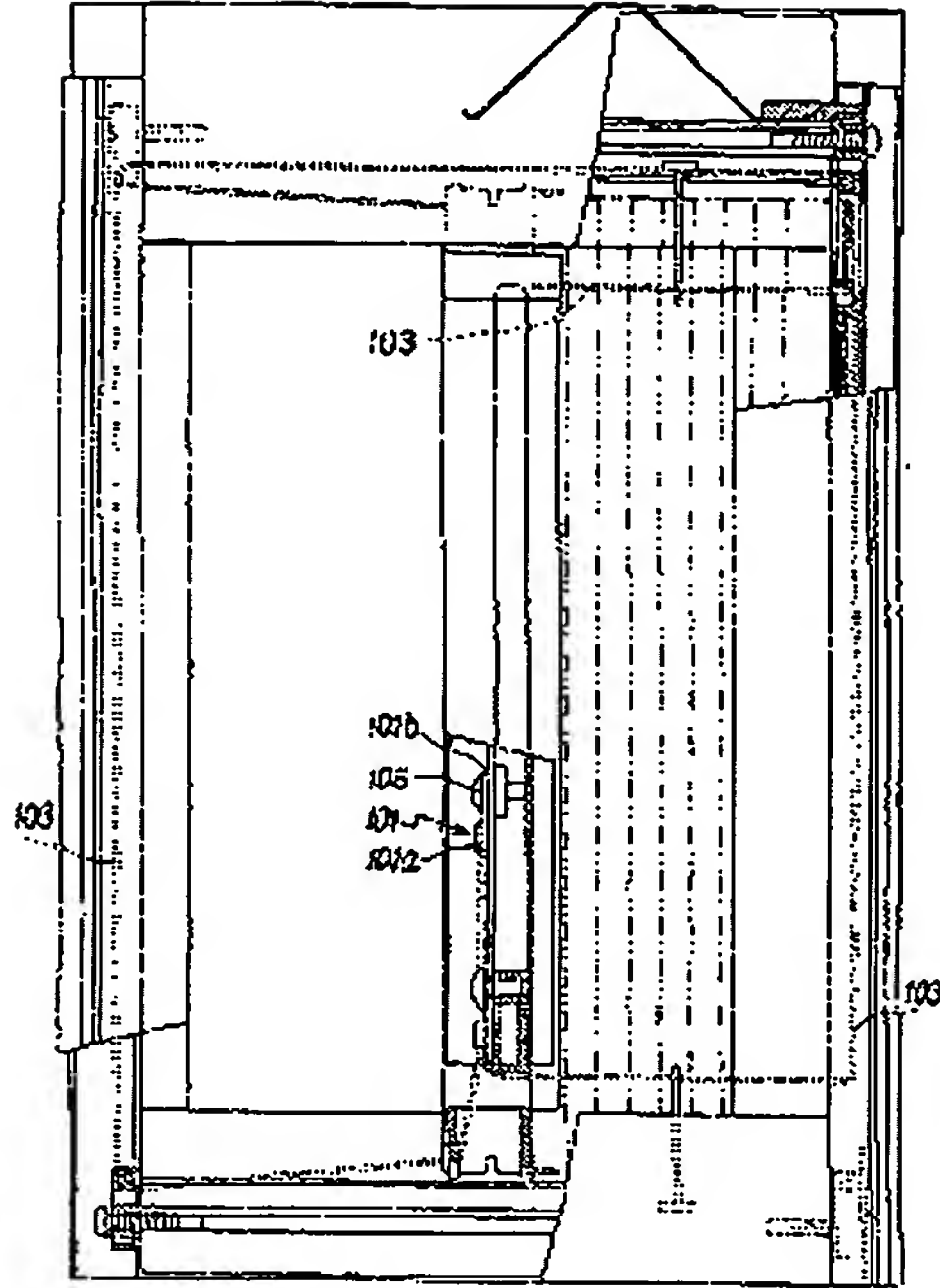


BEST AVAILABLE COPY

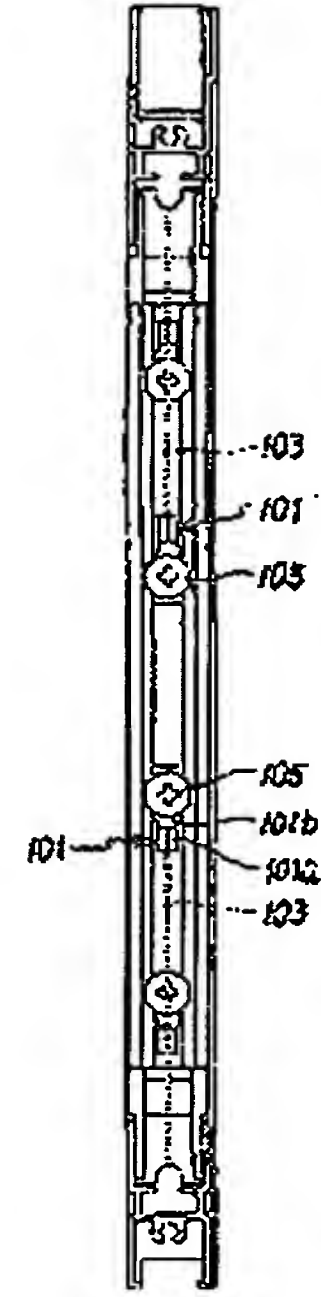
特許3057007

(5)

【図7】



【図8】



BEST AVAILABLE COPY